例会日 ２０２１．１０．２６ №１６４３

三条北ロータリークラブ週報

シェカール・メータ RI 会長「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
第 2560 地区：高尾茂典ガバナー「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう。」
三条北 RC：石川一昭会長「今こそ見せようロータリーの底力を！」

No. 14

会長：石川一昭　幹事：岡田大介　ＳＡＡ：花井知之
●例会日：火曜日　１２：３０～１３：３０　●例会場：三条ロイヤルホテル　TEL 0256-34-8111

◆本日の行事：「ライラ研修報告会」
◆本 日 の 出 席：５８名中３１名
◆先々回の出席率：５８名中４６名 79.31%
（前年同期 88.14%）
◆本日のゲスト：ライラ研修生
社会医療法人嵐陽会 三之町病院
小林 元 様、今井 力 様
◆先週のメークアップ(敬称略)：
10/15 吉田 RC　田中耕太郎
10/19 クラブ戦略会議委員会
石川一昭、渋谷義徳、外山裕一
石黒隆夫、松山浩仁
10/19 分水 RC　樋口　勤
10/21 加茂 RC　外山晴一、岡田大介
10/22 三年度三役会議・地区諮問委員会
高橋年度団結式
米山忠俊、石黒隆夫、石川勝行
＊本日の配布書類等
・ガバナー月信１０月号(閲覧)
・週報 No.１６４２

会長挨拶:石川一昭 会長

こんにちは！今日は 10/17（日）にオンラインでライラ研修を受講されました三之町病院のお二人の研修報告になります。本来ならば　１泊２日での研修の予定ですがコロナ禍の為オンラインになってしまいまして残念です。しかしながら 9：30 から 15：30 までびっしりと研修課題が予定されており大変であったと思います。その体験を発表して頂きます。楽しみにしております

さて、我がクラブの米山奨学生の「サボーペーテル君」ハンガリー出身の学生ですが、コロナ禍で日本に未だに来れない状態が続いておりますが、彼の毎月のレポートがメールで送られてまいります。当初日本の大学を卒業したら渋谷の東急ホテルに就職が決まっておりましたが結局来日できず、今年の 4 月から学生生活を送る予定でしたが、半年以上経過しても来日ができません。これは日本が留学生のビザの発給を今年の 1 月から全面的にストップしているからです。5 月からは国費留学生に関してはビザを発給しましたが、私費留学生はいまだ留学生へのめどはたっておりません。世界各国は留学生の受け入れが再開されております。主要 7 か国（G7）の中で最も厳しい規制が維持されております。留学生が来日できなければ日本の魅力を伝えることができず、将来の親日家を育てる機会を失ってしまうそうです。政府内では何とかしなければという意識はあるそうですが、なかなか進展しないのが現状だそうです。ペーテル君もその被害者の一人でもあります。国政選挙の真っ最中で各候補者が色々なことを演説で言ってますが、選挙が終わってしまえばまるで他人事にならない様、自分の言ったことに責任をもって頂きたいと思います。

花井 SAA・
長谷川副 SAA
欠席のため

2019-20 年度
福岡信行 副 SAA

事務局：三条市本町 3-5-25　三条ロイヤルホテル内　TEL 0256-35-7160 / FAX 0256-35-7488
ＨＰ：http://www.sanjo-nrc.org

幹事報告:岡田大介 幹事

・日本事務局より、「在宅勤務延長のお知らせ」 11 月 30 日まで延長
・ロータリーの友事務所より、「新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件」
　　時差出勤・在宅勤務の併用　12 月 28 日まで延長
・高尾ガバナーより、「物故会員ご報告のお願い」
・地区米山奨学委員長より、「第 2560 地区米山記念奨学生学友会総会開催のご案内」
　　日時：11 月 13 日(土)　15：30～18：30　会場：ホテルオークラ新潟
・三条ローターアクトクラブより、「11 月第二例会のご案内」
　　日時：11 月 25 日(木)19：30～21：00　会場：三条･燕地域リサーチコア

ロータリー財団 BOX

10月26日現在累計　153，000円

米山 忠俊 君　先週新潟で地区の行事があり、米山年度の石黒地区幹事さん、石川財務委員さんと出席して来ました。参考になる内容で良い経験になりました。
星野 義男 君　森宏先生の卓話に感謝して!!
坂内 康男 君　ＢＯＸに協力。
羽賀 一真 君　ライラ研修は、僕も新社会人の頃参加させていただいたので懐かしく思います。来年は実際に集まれるといいですね。

米 山 奨 学　ＢＯＸ

10月26日現在累計　95，000円

大野 新吉 君　ライラ研修会ご苦労様です!!参加者の三之町病院職員の小林元さん、今井力さんご苦労様でした。ライラ委員長の森宏先生に感謝～感謝!!
石川 一昭 君　先週吉田委員長に促され来週に回して欲しいと言われ今週に致しました。日頃の吉田委員長に感謝して。
落合 益夫 君　米山ＢＯＸに協力。
武田 恒夫 君　吉田委員長に協力します。
吉田 文彦 君　先週の米山月間行事、皆さんから米山にご協力を頂き誠にありがとうございました。これからもコツコツ頑張って参ります。今後とも宜しくお願いします。

ス マ イ ル　ＢＯＸ

10月26日現在累計　363，000円

森　宏　君　本日は、当院の若手放射線技師 2 名がお世話になります。
石川 一昭 君　本日の卓話 小林様、今井様よろしくお願い致します。
岡田 大介 君　本日の卓話 小林様、今井様の卓話に感謝して。
下村 啓治 君　森先生に!! お世話になりました。
石川 勝行 君　ライラ研修 森先生、小林さん、今井さん大変お疲れ様でした。是非今後ともご活躍の程お祈りします。
早川 瀧雄 君　ライラ研修の小林様、今井様宜しくお願いします。
石川 友意 君　森委員長はじめライラ研修ご出席の小林さん今井さんご苦労様でした。
松山 浩仁 君　先程、期日前投票を済ませて来ました。皆さんも必ず選挙に行きましょう！
吉田 文彦 君　「とうとう」・・と言いますか、「ようやく」と言いますか、眞子さまと小室圭さんが結婚されました。正直な気持ちとしては「ロイヤルウエディング」が見たかった!!
おめでとうございます！
そして本日のお客様、三之町病院の小林様、今井様、ようこそ北RCへ心より歓迎します。
佐藤 義英 君　ＢＯＸに協力!!
外山 裕一 君　ＢＯＸに協力。
田中耕太郎君　ＢＯＸに協力します。
金子太一郎君　本日、ライラ研修報告 小林様、今井様よろしくお願いします。

本日の行事 ： ライラ研修報告会

2021 年 10 月 17 日 ライラ研修会（オンライン）報告

青少年奉仕＆ライラ委員会　森　宏　委員長

例年 1 泊 2 日、あるいは 2 泊 3 日でのライラ研修が行われておりましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症のために中止。そして今年は、栃尾ロータリークラブがホストクラブとして、2021 年 10 月 17 日（土）に、日帰りでの研修会が予定されておりましたが、第 5 波の影響で現地開催は断念され、昨今すっかり定着した ZOOM での開催となりました。

ライラ委員長として、当院に勤務する若きリーダー候補として、放射線技師の 2 名に、参加すれば美味しいご飯を食べられるし楽しいよ、と誘ったところ、両名とも快く（仕方なく？）参加に承諾してくれました。しかし残念ながら現地開催とはいかず、とりあえず後日例会で美味しいお昼ご飯は食べられるからと慰めて、病院で各自のパソコンで参加しました。

研修テーマは「新しい生活様式での人間関係を考える」で、「新しい生活様式の中で必要なリーダーの資質を考える」がサブテーマでした。まさのそのテーマにふさわしい開催形式となったのですが、司会者の音声が聞き取りにくかったりして、主催者の方が“新しい様式”の会の主催に慣れていない様子がうかがえました。

では、詳細は参加した小林元（はじめ）、今井力（りき）の両名から、発表してもらいます。

「ライラ研修を振り返って」

社会医療法人嵐陽会　三之町病院　　今井　力　様

皆さんこんにちは、三之町病院で診療放射線技師をしております今井力と申します。今回ロータリークラブ様の会員である当院の院長にお誘いいただき、ライラ研修に参加させていただきました。この場をお借りして研修の振り返りをさせていただきたいと思います。

1 つ目の研修では掛札逸美先生から「これからの人間関係とリーダーシップ」についてご講演をいただきました。これからの時代コミュニケーションにおいて世界で必要になるものは“表情”だそうです。この表情というテーマを語るうえで“笑え”“笑うな”“嘲笑うな”という 3 つの項目に分けて説明していただきました。一見矛盾しているように思えますがそうではなく、話すときには表情はにこやかに、しかし声に笑いを混ぜてはいけない、聞くときには相手の話を笑わずに聞くということでした。話すときに笑い声を混ぜてしまうと表情がどれだけにこやかでもヘラヘラした印象を与えてしまいます。聞くときも同様に、笑いながら相手の話を聞くと馬鹿にされたような印象を与えてしまいます。これを聞いたとき自分はヘラヘラせずに相手に話をしているだろうか、また話を聞けているだろうか、と急に不安になりました。診療放射線技師という立場から、放射線を使う検査に対して多少なりとも不安を抱えていらっしゃる患者様とのコミュニケーションの重要さを再確認する良い機会となりました。

2 つ目の研修では橋本英俊先生から「椅子坐禅体験」のご講演をいただきました。今回私は椅子坐禅というものを初めて知りました。椅子坐禅は通常の坐禅のように足を組む必要がないためデスクワークをしていても空き時間に手軽に取り組めるという利点があります。また坐禅は皆さんご存知の通り心を整える効果があります。焦っているときや悩み事があるときこそ坐禅を組むことで自分と向き合う必要があるように感じました。研修後、一度就寝前に取り組みましたがゆったりした気持ちで床に就くことができましたので皆様にも是非お勧めさせていただきたいです。

3 つ目の研修では永森正仁先生から「障害のある人ない人が共に作る明日につながる花」というご講演をいただきました。発達障がいをもつ子供たち、総合支援学校の卒業生を対象とした「みんなのパソコン教室」での取り組みを例に障がいを持つ人々と地域との関わりの在り方を学ぶことができました。この教室で何かを成し遂げることによ

り障がいを持つ方々の自己肯定感の向上を図り、彼ら自身に同じ立場の人々を支えるピアサポーターとなってもらうことが期待されています。私も医療従事者として体の不自由な方と関わる機会が多くありますので今回の講演を参考に患者様との関わり方をより良いものにしたいと思います。また 2013 年に障がい者差別解消法が制定されたことにより福祉から教育まで様々な分野で新たな事業が展開されています。障がいを持つ方の活躍する場も増えてきているので今後の社会の動向にも注目していきたいと思います。

最後になりましたが、研修テーマである「新しい生活様式での人間関係」を様々な面から学ばせていただきました。学んだことを生かし三条、県央地域の医療の支えになれるよう頑張ります。今回研修の機会をいただいたライラ委員会関係者の皆様本当にありがとうございました。

社会医療法人嵐陽会　三之町病院　　小林　元　様

社会医療法人嵐陽会 三之町病院 診療放射線技師の小林元です。私からは午後の研修について研修内容のご紹介をさせていただきます。

研修では「傷害のある人ない人が共に作る「明日につながる花」～ポストコロナ時代の市民活動：やさしい社会に向けて～」と題しまして、長岡技術科学大学の永森正仁先生にご講演いただきました。

まず、永森先生から WHO の健康について説明がありました。しかし、WHO の健康の定義では障がい者の方はすべて健康ではないことになってしまいます。永森先生は WHO から一歩進んだ定義として、健康とは「今ある社会的、身体的、感情的問題に対して「何とかやりくりする」能力である」との考え方を説明されました。

また、健康を考えるうえで周囲の環境や因子は重要です。そこで ICF、国際生活機能分類について話がありました。ICF は健康にまつわる問題点を整理し、健康に影響する因子を理解するために用いられるものです。

永森先生は健康の定義や ICF を使い考えたとき、障がい者の社会的問題の１つに学習に関する問題が見えてきたそうです。たとえば特別支援学校といった教育機関はありますが、そこからより高度で専門的な分野を学ぶ大学などの機関への道は非常に少なく、生涯学習の機会が失われているという問題です。

永森先生は工学の技術で学習に関する問題解決を図り、社会的な健康を障がい者の方に取り戻してもらおうと考えました。これは「持続可能な開発目標：SDGs」のハブ大学として任命されている長岡技術科学大学にとっても重要な課題であるといえます。この SDGs とは貧困や飢餓といった 17 の問題に対して世界各国で対策をしていこう、というものです。

SDGs などの背景もあり、永森先生は問題解決のために「みんなのパソコン教室」を開催されました。このパソコン教室ではスライドを作成したり、工学に拘らず地元の人たちと畑で野菜を育てたり、3D モデルの作成、それを用いた映像作品等の作成と幅広く活動していらっしゃいます。さらにこのパソコン教室は大学の学生がピアサポートとしてかかわっています。副次的な効果ですが、授業で学んだことを実践の場で実感することで学生にも良い刺激となり、人材育成の場としても機能しています。また、障がい者の学習支援として、自分で作成した作品が認められることで自信を持ち、さらに進んで学びを得るといった正のサイクルを経て精神的な成長が見られる、生涯学習に発展する、といったことも考えられます。

近年ではコロナの影響で活動が制限されている中、様々な方法で活動なされています。特にリモート技術などは積極的に取り入れており、また市や県のコンテストに作品を応募し賞をいただくなど SDGs のハブ大学としての使命を果たし、障がい者学習支援の可能性を日々証明されています。

ハブ大学としての使命は病院としての使命にも似た部分があり非常に示唆に富んだ内容でした。医療に携わるものとしてこれからも自らの使命を果たしていきたいと強く思いました。

最後に、今回の研修ではオンライン研修の良い部分を多く経験できました。オンライン研修には苦手意識を持っていましたが、無意識のうちにコロナ禍を経た新しいあり方に置いて行かれていたことを痛感し、今後は今回の研修で得た知識や経験を役立てていきたいと強く思いました。

ロータリークラブの皆様、貴重な研修の機会をいただきありがとうございました。

最後に・・　　森　宏　委員長

この二人がこんなに立派な発表をするとは夢にも思っていませんでした。大変良い職員を持ったなと思っています。放射線技師は皆さん技師の専門学校を出ているかと思われていますが、二人とも大学卒で小林君は大学院を卒業しています。そういった学問的バックグランドがあり勉強もしてきたこともあります。実は二人には、日頃もっと厳しい放射線診断の先生が当院にはおりまして、私も昔鍛えられた大先生がいらっしゃるんですが、その先生に日々鍛えられております。そういった成果も出ていたと思います。最初は気軽な気持ちで誘ったのですが、こんなに立派な発表をしてくれて、私の方が感謝します。

沢山の実りを感じる米山奨学事業に　　ガバナー月信１０月号より

ガバナー　高尾 茂典 様

秋のやわらかな日差しが秋色の樹木を照らす季節となりました。

ガバナーに就任し、あっという間に 3 ヶ月が駆け抜けました。公式訪問では、各クラブの皆様よりの歓迎の言葉、そして貴重なお話の中から大変大きな力を頂いております。

さて、10 月は経済と地域社会の発展月間・米山月間です。国連は、2000 年のミレニアム開発目標において、地域社会と経済を発展させるには、貧困問題の解消、女性の地位向上（エンパワーメント）、グローバルなパートナーシップ、環境の持続可能性が必要であるとしました。2014 年国連進捗レポートによると、極度の貧困者数が半減し、労働市場においての女性の地位やテクノロジーの使用の上昇により、途上国の借款は安定した状態を保っています。しかし、前進は見られるものの開発の恩恵にはまだまだ偏りがあり、国連が新たに発表した「持続可能な開発目標」からも分かるとおり、我々の成すべきことは多くあります。

ロータリー米山記念奨学事業については、奨学金による経済的な支援だけでなく、日本のロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度によるクラブ例会行事への参加等、カウンセラーとの心の通った支援があります。年間 860 名の多くの学生を対象に支援を続けております。地区の孫犁冰様（新潟東 RC・現幹事）も 2560 地区から巣立った沢山の学友のうちの一人です。2017 年～2020 年まで駐新潟大韓民国総領事館で総領事を務めた鄭美愛様はじめ多くの米山学友が成長し、各分野で活躍をしております。

この素晴らしい米山奨学事業に、ロータリアンの皆様のご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

三条北 RC　米山記念奨学生　サボー　ペーテル君（ハンガリー）　　10 月報告書より

三条北 RC の皆様、こんにちは。ブダペストは１０月を迎えるたびに、非常に寒い都市になりますが、落ち葉が飾る通りは趣があるものですので、好きな人とともにあまり好きではない人もたくさんあります。新潟はどうでしょうか。１１月-１２月入ると、ブダペストよりも寒い場所になるイメージがあります。ようやく到着できる日を楽しみにしております。。。

この度、新しい研究テーマについて少し語らせていただきたいと思います。日本に初めて留学した時、

日本の様々なところが強い影響を与えてくれました。その中に事業計画書に繋げることができるものはもしかして一つがあるのではないかと最近考え始めました。それは大分市本店である「奇跡の手羽先」という居酒屋の初めての海外展開を目指すことです。２０１４年に創業した居酒屋は 7 年間にわたってコロナの影響にも関わらず沖縄から大阪まで加盟店を何店も開業したということは、日本国内で「キセテバ」の大成功の証拠ですよね。また、「キセテバ」は日本人の間にだけではなくて外国人の留学生さえ高く評価するみたいです。大分大学で知り合った欧米人の友達のみんなに「ブダペストでキセテバが開業するとしたら、絶対に行くわ！」と言われました。しかも、日本以外にブダペストでしか体験できない日本風の居酒屋チェーンは絶対に話題になれると信じ詠ます。

そのために、考えていたのは「奇跡の手羽先」の初めての海外加盟店を目指す事業計画書の作成です。

しかし、第一歩は本社に問い合わせることです。フランチャイズ制度はメリットとともにデメリットもたくさんありますが、デメリットとして挙げられる一つのことは、本社に依存することです。そもそも、本社は加盟店の募集を検討するかどうかという極めて肝心なことを明確にしないといけないのですよね。キセテバは日本国内に加盟店を大募集することはしますが、海外展開まで検討するまたは MBA 取得のための事業計画書に協力していただけるかどうかやはりまだ分かりません。

以下にポスターと２０１９年に大分大学のある授業の課題として作成したビデオインタビューのリンクを添付おります。大分市を訪れるとしたら、中央町本店はぜひね。

「未来ビジョン委員会」設置について　　ガバナー月信 10 月号より

第１地域ロータリーコーディネーター補佐　福井敬悟　様（札幌手稲 RC）

世界のすべての地域で熱波、豪雨、干ばつ、熱帯低気圧の極端な異常気象はすでに顕在化し、新型コロナウイルス感染症が収まることなく、多くの人が振り回され「2 度目の秋」を迎えます。ロータリー年度も早いもので三か月が過ぎました。早い地区では地区大会開催が計画されているかと思います。

さて今年度、ロータリーは、会員基盤の成長への多大なコミットメントと功績を示した会員を認証するプログラムを立ち上げました。新会員推薦者を認証するメンバーシップ・ソサエティで、25 人以上の新会員を推薦した会員を紹介するバーチャル形式のギャラリーです。

認証レベルにはプラチナレベル（75 名以上推薦）、ゴールド（50～74 名）、シルバー（30～49 名）、ブロンズ（25～29 名）5 つのレベルがありますが、日本はゴールド 2 名、シルバー11 名、ブロンズ 10 名の方々がいらっしゃいます。是非とも MyROTARY の会員コーナーでご覧ください。

さて、皆様の地区では「戦略計画委員会」が設置されていますか？

団塊の世代が 75 歳を迎え、各クラブに於いてコロナ禍の影響もありますが、会員の高齢化と会員減少がみられます。クラブ、地区においてこの問題に真剣に取り組む努力をしていますが、既存の会員は毎年かならず歳を重ねていきます。高齢化から老齢化の道に進まないために毎年新しい会員を入れていくことはクラブの活性化に繋がります。又、入会 5 年以内の退会が目立つのも事実です。会員増強、そして会員基盤の育成はクラブ、地区の急務です。「将来、こうありたい」と思う 3 年後・5 年後・10 年後の望ましいクラブの姿のビジョンを描き、それに従った目標と行動計画を立て、クラブの活性化を図る「未来ビジョン計画」が必要です。

私の所属する 2510 地区では、今年度から改めて地区クラブ奉仕委員会が中心となり、クラブの「戦略計画委員会」を「未来ビジョン委員会」と名称を変え委員会の設置を改めて強く呼びかけることにしました。計画立案のプロセスとして第 1 段階：クラブの現状分析、第 2 段階：クラブのビジョン作成、第 3 段階：ビジョン実現の為の計画作成、第 4 段階：計画の進捗確認・検証・調整としました。各クラブにおける「未来ビジョン委員会」は、それぞれのクラブの自主性と独自性を尊重し、これからのクラブの在り方を諮問していくものです。現会長・直前会長・次年度会長・次々年度会長を含み継続性に配慮する。幅広い見解を取り入れるために、出来るだけ多様な会員の参加、「ロータリーのビジョン声明」と「ロータリーの戦略的優先事項と目的」に沿ったものとする。地区戦略計画作成の参考にして頂ければと思います。

我々ロータリアン、ロータリークラブ、地区はこのような状況においても「SINKA」をしなければなりません。

新価：新しい価値を作り出す。深化：改善により魅力を高めていく。真価:世の中に認められる。進化：そして前進して行くです。TOGETHER～GROW～ACTION をもって皆様の地区・クラブが益々のご発展されます事ご祈念申し上げます。

11 月 のお祝い

（敬称略）

会員誕生日　小林幹扶、石黒隆夫、長谷川哲昌、佐藤義英
坂内康男、丸山　勝、岡田大介、野崎喜嗣

ご夫人誕生日　佐藤ミチ子、落合千鶴子

結婚記念日　柄沢憲司・佑子、小林幹扶・明美、金子太一郎・節子
丸山正男・夏子、今井克義・房子、下村啓治・宏子
浅野潤一郎・正子、羽賀一真・麻美、石丸　進・咲子